



2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ
夢をかたちに
2008～2009年度
RI会長 李東建

Weekly Report

創 立 : 1980年(昭和55年)1月10日
会 長 : 松井 善則
幹 事 : 田口 豊
クラブ委員長 : 平野 好道
例 会 日 : 毎週木曜日 PM12:30～
会 場 : ヒルトン名古屋
事 務 局 : 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
T E L : 052-211-3303
F A X : 052-211-2623
M A I L : 2760nagoya@mizuho-rc.jp
U R L : http://www.mizuho-rc.jp/

第1401回例会

～世界理解月間～
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2009年2月19日(木) 晴 第31回 R.I.第2760地区西名古屋分区大会
場所:ヒルトン名古屋4F「竹の間」
5F「扇の間」

第一部 新人会員研修セミナー

司会:平野好道分区大会実行委員

開会の言葉:近藤雄亮ガバナー補佐



皆さんこんにちは。本日は片山ガバナーをはじめ、地区の研修委員長である鈴木さん、新人会員の皆様、回答者の皆様、大変ご苦勞様でございます。今日のセミナーは片山ガバナーが会員増強の「強」に努めたいということで開催されることになりました。クラブを越えた話し合いの場はなかなか持てるものではありませんので是非有意義な時間をお過ごし下さい。また、このセミナーのもう一つの目的は知り合いを多くするという事です。1人でも2人でも知り合いを増やして下さい。それでは宜しくお願いします。

研修セミナー説明:天野正明分区大会実行副委員長



この会は、第2760地区西名古屋分区12RCの会員で2005年7月以降に入会された方に参加していただいております。日頃感じている不安や疑問をオープンな場で先輩にぶつけ、解消していただくという初めての試みです。回答者の方は地区の委員長、会長、会長経験者などベテラン会員ばかりですが、それぞれ得意不得意分野がどうしてもあると思います。もし回答者の方でもわからない場合、ガバナーが最終責任を負うということですのでよろしくお願い致します。初めての試みですのでどのようになるか私にも見当が付きませんが、質問が出ないことには始まりませんので、幹事の方は質問の出やすい環境を作っていただければ幸いです。のちほど代表者の方に3分間の発表をお願い致します。活発な議論を期待しております。

発表:Lグループ代表 入山治樹さん



Lグループは16名で田口幹事の進行で進められました。人数が多かったため、なかなか全員が発言することはできませんでしたが全体で8つほどの質問が出ました。時間が足りないほど、全員が積極的に参加できたと思います。回答に対して関連質問があったのではないかと思います。時間の関係でそれほど突っ込んだ質問ができず、それが少々心残りです。しかしやはり回

答者の方の説得力と博識ぶりに尽きたと思えました。ロータリーの疑問に対しての理解が確実に深まった一日でした。ありがとうございました。

講師:鈴木孝則地区研修委員長

本年度のガバナーの重点項目がこの研修でした。私はロータリアンに対して研修や指導はなじまないと考えているのですが、世界120万人のロータリアンが一つの目標のもとに活動を行っているわけですから共通認識を持つための勉強は必要だと思います。ガバナー補佐や委員長、副委員長が何度もリハーサルを行い今日を迎えました。それぞれが発言をし、出席者同士の交流も深まり、私が見ていた限り皆がとても楽しんでいただいていたように感じました。このような研修会が今後盛んになると確信しています。今日研修を受けられた新人会員の皆さんが次は教える立場となります。先輩の意見を丸呑みにするだけではなく、自分たちのカラーを十分発揮して明日の新しいロータリーの仕組みを作りあげて下さい。皆さんご苦勞様でした。

第二部 式典

司会:岩崎道夫分区大会実行委員

斉 唱 : 国家「君が代」 ロータリーソング「奉仕の理想」

歓迎のことは:近藤雄亮ガバナー補佐

皆さんこんにちは。本日は片山ガバナーはじめパストガバナー、地区の役員の皆様、西名古屋分区のロータリアンの皆様、ご家族の皆様たくさんお集まりいただきありがとうございます。私が昨年2月18日に次年度ガバナー補佐として皆様にご挨拶致しまして早一年となります。その間私としましてはロータリー活動を違った切り口から勉強させていただきました。ガバナー補佐としての大きな役割であるクラブ訪問の際には、各クラブの皆様にご温かく歓迎していただき心より御礼申し上げます。本日は私のもう一つの大きな役割である西名古屋分区の分区大会を主催させていただきました。テーマは「見ようロータリーを 聞こう地球の囁きを感じよう友情を」とさせていただきます。「見よう」につきましては先ほどの新人会員研修セミナーの席で皆様すでに違った角度からロータリーを見ていただくことができたのではないかと思います。二番目の「聞こう」につきましてはこのあと櫻井よしこさんの講演の中で皆様方の経営や奉仕活動等に役立つことがあると思います。そして三番目の「感じよう」は、最後の懇親会でロータリアンの友情の絆をしっかりと作っていただけるよう、新人とベテランの方に同じテーブルに座って親しく話し合ってください。ロータリーの好意と友情を深めて下さい。西名古屋分区が友情の固い絆で結ばれ、次々とあらわれる困難を打ち砕いて強く前進できる分区になっていただくことを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。



本日、分区大会第一部におきまして13時から15時までの2時間、新会員を対象にした新人会員研修セミナーが行われました。片山ガバナーの重点項目である「分区大会において新人を対象としたセミナーを開催する」という要請に瑞穂RCがお応えになり、ガバナー補佐や地区委員長を中心に打合せやリハーサルを繰り返されて本日の運びとなりました。私共、地区の研修委員会としましてもお役には立てませんでした。多少協力をさせていただきました。本日のセミナーは大変画期的な手法がとられました。12チームに分かれてのディスカッションでは、リーダーを中心に全出席者がフランクに意見を述べ合い、質問をリーダーにぶつけて解決し、お互いの考えを理解し勉強したことにより先輩と出席者との交流、または出席者同士の交流が実現できました。大変楽しく有意義な新人会員セミナーであったことを強調して報告したいと思います。ありがとうございました。

ガバナー挨拶：片山主水ガバナー



第2760地区は日本全国でも1、2を争うほどの大きい地区ですので、この西名古屋分区も全国1、2を争う大きさや実力を持った分区であると思います。そういう分区の、しかも地区内8分区の中の最初の分区大会で挨拶させていただけることは非常に光栄であると感じています。

今回の分区大会の主旨はこれまでのI.M.とほとんど変わりません。分区大会とは分区の中のクラブがクラブ同士で集まれる一番直近の大会であります。クラブと地区大会とはちょっと心理的な距離がありますが、分区大会は本当に親しい自分たちの分区の手により、分区のために開催するというものです。先ほど終了しました第一部の新人会員研修セミナーは、ホストクラブの用意周到な準備によって開催されました。その成果は、聞いたところによると大変すばらしいものであったようです。近藤雄亮ガバナー補佐が分区経営に対して非常に意欲的で、積極的に動いてくださり喜ばしい限りであります。ロータリーの神髄は親睦を楽しみ奉仕に喜びを感じることです。今後一度二度は必ずロータリーを振り返るときがあると思いますが、そのときにロータリーは自分の人生の一部であったと感じていただき、人生回顧の最後の日記に数行でいいのでそれを記していただければロータリーの狙いであり本望であると思います。本年度のRIのテーマが「夢をかたちに」、地区の目標が「持続可能な前進」と、一見あたりさわりのない語句であります。使いようによっては名刀にもなまくら刀にもなるのです。昨今の厳しい経済環境の中で特にお願いしたいのは、持続可能かを十分に玩味していただいて無理なく、しかしこれ以上下がることなく、調和のとれた前進です。引き続きこの分区大会が実りあるものになるよう、そして会員の皆様の発展を祈願してご挨拶いたします。

次年度ガバナー補佐紹介：近藤雄亮ガバナー補佐

次年度ガバナー補佐の草野勝彦さんをご紹介させていただきます。お生まれは昭和19年9月16日の64才。職業は弁護士で草野法律事務所の所長をされております。名古屋大須ロータリーに所属されており職業分類は「民事弁護士」です。入会が1985年1月10日でチャーターメンバーでもあります。以後、会計監査、ロータリー財団委員長、会計、米山奨学委員長、職業分類委員長を経て2005～2006年度には会長を務められました。地区で

は2002～2003年度に地区副幹事、今年度は地区規則細則委員長をされております。また、ロータリー財団大口寄付者、ポール・ハリス・フェロー、米山功労者でもあります。

次年度ガバナー補佐挨拶：草野勝彦次年度ガバナー補佐

ただいま紹介にあずかりました草野と申します。私は1985年に大須ロータリー設立時にメンバーとなりました。大須ロータリーには他に適格者がたくさんいらっしゃるの自分ガバナー補佐が任せられるとは思わなかったのですが、きっと私がロータリーを知らないのこのうことになったのだと思います。先ほどの新人会員研修セミナーでも自分はまだロータリーについて知らないことばかりだということを実感致しました。私もこれからガバナーを補佐し、ガバナーとクラブとの橋渡し役になれるよう所懸命頑張りたいと思っております。来年のテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の手に」ですので、皆様ご協力お願い致します。来年のI.M.は2月18日(木)名古屋東急ホテルで開催する予定です。ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

次年度分区大会ホストクラブ会長挨拶：

名古屋大須RC 内藤 明会長エレクト

皆さんこんにちは。次年度のI.M.は大須クラブが担当させていただきます。ただいまクラブ内に新沼元会長を委員長とした実行委員会を作り、画期的なI.M.をということで会員一同準備しております。本日の瑞穂RCさんのような立派な大会はできないと思いますが、負けなよう会員一同頑張っておりますので乞うご期待ということでよろしくお願い致します。来年も各クラブ全員登録していただきますようお願いします。ありがとうございました。

閉会のことば：高須洋志西名古屋分区幹事



キャデラックという車は、我々の世代にはハリウッドの映画とともにあこがれの的でありました。そのアメリカの20世紀を支えてきた自動車産業が今倒産の瀬戸際に立たされています。激動の年明けになりました。ロータリークラブの歴史を振り返ってみるとすでに100年を経過しており、とりわけ日本におきましては現在会員の減少に悩まされています。会員を増やそうということになるといつも問題になるのが「量なのか質なのか」ということですが、二者択一の問題ではなく量も質も必要なのです。従って今回はガバナーの意志に沿い新しい会員の研修を試みとして行いました。今年度このセミナーに参加されたかたは幸運です。いずれ今日のセミナーがお役にたつことが必ずあると考えております。この式典後は講演を聞いていただきそのあとは懇親会ですので、気楽に楽しんで下さい。長丁場ではありますが有意義な一日をお過ごし下さい。

第三部 講演

司会：岩崎道夫分区大会実行委員

「日本よ、動き国となれ」：ジャーナリスト 櫻井よしこさん



ロータリアンの皆様こんにちは。本日はお招きいただきありがとうございます。今日は私たちの国が今一体何をすべきか、そして私たち個人が何をすることができるのかをなるべく具体的にお話したいと思います。

今の状況をあと半年か一年後に振り返ってみても本当に激しく世の中が変化している時だと思います。状況は非常に厳しくなりつつあり、特にご当地の経済は巨大企業の調子が悪いので一番厳しい局面にあるの

ではないでしょうか。外交的にも日本は断崖絶壁に追いつめられている状況であります。私たちはまずこの事態をどのように捉えるかということから始めなくてはなりません。

ここにコップ半分の水があります。今の日本人は「もう半分しかない」という考え方をしていますが、そういう考え方をしていると心が縮まって防御的になり、攻めに打って出ようという勇気が萎えてしまいます。水は半分であり、それ以上でも以下でもありません。前向きに「まだ半分もあるじゃないか」と思えたとき、この半分の水がある間に何をなすことができるだろうと考えてその優先順位を決めればよいだけの話なのです。多くの問題が山のようにあるとき、問題の根底に何があるかということを考えなくてはなりません。今、根底にある問題は、中国そしてアメリカを見ることによって他国の姿を見ることによって学び取っていくことができるかと思えます。

多くの人たちがアメリカ一国の時代は終わったと言います。確かにアメリカ一国の時代ではなくなるでしょうが、それでもアメリカは世界の大国で有り続けるでしょう。大国の力の源泉は政治力と軍事力です。政治力とは人間の力ですが、アメリカは大国としてたったひとつ人口減少に直面していない国、そしてその人口のほとんどは非常にインテリジェンスの高い人たちです。軍事力を見てみると、世界の軍事費を100とした場合アメリカは50を占めています。更に経験が多いため戦争の仕方を知っています。そういう意味でアメリカの相対的な優位は当分揺るがないであろうと思うのです。このアメリカが今日本にとっては深刻なほど対外政策を変えようとしています。

アメリカがどのような政策を日本に適用しようとしているのか、そしてその先にどのようなアジア政策を考えているのか注目すべきです。アメリカが日本より中国に注目していることは皆さんご承知の通りですが、それがどれほど深いものかということに気が付かなくてはなりません。2005年以降、アメリカと中国は目覚ましく関係を強めて参りました。このアメリカの中国に対する傾斜ぶりは私にとってどこかで見たことがある景色だと感じさせられます。それは1920年のワシントン海軍軍縮会議です。あのときもアメリカと中国が非常に緊密に連携プレーをし、その結果日英同盟が破棄されました。私はそれが日本が世界から孤立し、第二次世界大戦につながる歯車が回りはじめた瞬間だと考えています。

さて、この中国とアメリカの関係の中でいくつか重要な変化がすでにアジアに起きています。それは台湾です。台湾は今まではアメリカによって守られていましたが、アメリカが台湾を守る際、中国の顔色をうかがうようになってしまいました。つまり、中国とアメリカの共同統治が台湾に対してなされていると考えてよいと思います。そうなると台湾の人たちの運命というのは米中二カ国によって決められるというわけです。アメリカのポールソンは米中はこのように寄り添う関係ではなくお互いに織り込み合わなくてはならないと言っています。中国とアメリカは真に溶け合って切り離すことができない国にならなくてはならないと言っています。これからそのような関係が深まっていくとしたら台湾のためにアメリカが兵を出すと言うことはあり得ません。中国がこれからするであろうことは、中国と台湾の統合でしょう。

次に日本の立場を見てみましょう。中国は、日本海域の支配は確立したと思っています。日本政府はそれに対してろくな抵抗を示していません。日本は何かあればアメリカが守ってくれると未だに考えている節がありますが、そのアメリカは今や日本ではなく中国を見ているのです。我が国は日本国の土台が何であるかを

そろそろ考えなくてはならないところに来ていると思います。国家の土台、それは軍事力です。それに支えられた政治力、そして経済、それに文化です。そして戦後の日本に深刻に欠けているのが軍事力、政治力です。

そのことは環境問題を見るとよくわかります。京都議定書を結んで1990年を基準にCO2を削減しようと言っていますが、内容は日本にとって圧倒的に不利なものです。1990年までに我が国は大変な努力をして省エネを進めてきました。日本だけが絞ったぞうきんをまた絞れという状態に置かれ、数字をクリアできません。そこで出てきたのが、色々な優れた環境技術を他国に移転してその国で削減できたCO2を権利として買うことができるという排出権取引です。日本が世界一の技術大国・環境大国であるにもかかわらずこうした技術を彼らに与えてそこで生じた余白を我々が買い取らなくてはならないというしくみ。これは国家が国家戦略を持たなくてはこういうことになりますという実例です。日本だけ国益を考えて総合的な戦略を考える人が誰もいなかったのです。我が国はこのような状況から早く抜け出さなければ自分の国の運命を自分で決めることができない第二の台湾になってしまいます。

これを防ぐ方法はたった一つ。日本が国家になること。日本人が日本人になることだと思います。国家になるということは戦後長きにわたって無視してきた軍事力をきちんと整えるということです。まず憲法9条を改正しなくてはならないでしょう。しかし憲法の改正は制度的に非常に困難ですので、私たちは憲法改正に実質的につながるような集団的自衛権の行使を可能にする政治家を総理大臣に選ばなければなりません。アメリカに対しても、我が国は基本的に自力で自国を守ることができるようになるということを示さなくてははいけません。アメリカの失望を変えていくだけの日本国の国家たる所以を見せなければなりません。そのような動きは中国に対してもこの国を過小評価してはいけないという思いにさせていくでしょう。それがなぜできないのかというと、今の日本人が日本人でないからではないでしょうか。日本人は日本の歴史をきちんと学んでいません。戦後の日本人は反省の意識が強く、自分たちが悪い戦争をしたと考えていますが、歴史をきちんと学べば、我が国が行った戦争が侵略戦争であったということは自動的に否定されます。1930年代に国際社会が日本を見る目はどうだったのかということ、当時の資料をもとに学んでいくことが必要です。国際社会は、あの時日本だけが悪かったとは誰も言ってません。確かに我が国間違いは犯しましたが、同じように中国も悪かったしアメリカも国際社会も皆ずる賢く、日本はその国際社会の戦略に破れたのです。自分たちだけが悪かったのもう物を言う資格はないと考える必要は全くないと思います。歴史をよく見て、この国は侵略の国家ではなく、むしろ本当に素晴らしい価値観を実現し美しくも誇りある国家であるという意識を身につけることが、この経済体制に反映させて世界中の人を幸せにすることができるような日本人の知恵を発表する自信につながっていくのではないのでしょうか。その自信を持ったとき私たちは本当の意味での日本人になれるのです。そのとき初めて私たちにつながる何百世代の日本人の足跡をもっと前向きに捉えられ、そこからエネルギーや勇気や英知というものをくみ上げることができます。それを現在と未来に生かして繋いでいくことが現役世代の私たち大人の責任であろうかと思えます。ロータリアンの皆様にはとりわけ社会のリーダーとしてそのような責任を自覚していただければと思います。

謝辞:増田盛英分区大会実行委員長

本日は我々の分区大会でご講演いただき誠にありがとうございました。先生のお話から、日本を取り巻く国際情勢の変化、そして私ども日本人がどのように困難を乗り越え21世紀の地球をリードしていくかということを考えさせられました。

さて、本日は櫻井よしこ先生が理事長を務められる会についてご紹介させていただきます。2007年に立ち上げられた「国家基本問題研究所」という財団法人です。メンバーには石原慎太郎都知事をはじめとする多くの国会議員の方がおられ、日本が直面する問題を見つめ独立自尊の国家建設を目指す大変期待できる会です。ただいま会員を募集しているそうですので是非ご入会いただければと思います。

先生におかれましては今後ともお体にご留意され、ますますご活躍くださることをお祈りしております。本日はありがとうございました。

第四部 懇親会

司会:加納 裕分区大会実行委員

歓迎のことは:名古屋瑞穂RC 松井善則会長

今回の分区大会のホストを務めさせていただきます名古屋瑞穂RCを代表いたしましてご挨拶させていただきます。本日は片山ガバナーをはじめ多数のご来賓の方々にご出席を頂きこの大会を開催できますことに感謝申し上げますとともに皆様を心より歓迎申し上げます。本日の分区大会は、近藤ガバナー補佐の指導のもと増田実行委員長はじめ各担当者と会員全員によって万全を期して準備してきました。何分不慣れでございますが誠心誠意努めさせていただきます。本年の分区大会はガバナーのご要請により新人会員研修セミナーを開催させていただき、鈴木孝則地区研修委員長をはじめ、12RC関係者の皆様に大変ご苦勞頂きましたことに、深く御礼申し上げます。第四部の懇親会におきましては、より一層の友情を深めていただければ幸いです。何かと行き届きの点があるかと思いますが、どうぞ友情とご好意でお許しいただければと思います。今回の分区大会が実りある会合となりますよう皆様のご協力をお願い致しまして歓迎のご挨拶とさせていただきます。

特別出席者代表挨拶:盛田和昭バストガバナー

今までの経験から申しますとロータリーの会合は退屈であることが多いのですが、今日は驚いたことが2つありました。1つ目は名称がI.M.から分区大会へと変わっていたこと。これは片山ガバナーの発案で、この地区では初めてのことでそうですが、ロータリーというのは毎年R.I.が変わるのでそれは言い替えると毎年新しいことができるということなのです。それはロータリーのとても良いところだと思います。もう1つは櫻井よしこさんの講演です。非常に面白く興味深いお話でした。こういうお話が聞けるならば来年も分区大会に参加したいと思いました。この分区大会に心から御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

乾杯:加納 泉バストガバナー

皆様がロータリーに在籍した喜びとロータリー活動に誇りを覚え、ますますロータリーが繁栄するよう杯をあげたいと思います。さらに今日のこの盛大な会をご用意いただいた近藤ガバナー補佐と瑞穂RCの皆様にご感謝し、乾杯。

アトラクション:バロックファンタジー、デュオクスの世界「ヨーロッパの宮廷音楽からビートルズまで」

皆さんこんにちは。デュオクスでございます。私たちはバロック時代の歌い方のソプラノとヨーロッパの宮廷楽器のリユートによるアンサンブルユニットでございます。15世紀の中世から18世紀

のバロック時代の音楽、ヨーロッパのトラディショナル、また日本の歌やビートルズもレパートリーとしております。皆さんお楽しみください。

ロータリーソング「手に手つないで」斉唱:近藤茂弘ソングリーダー

閉会のことは:名古屋瑞穂RC 宇佐美貞夫副会長

本日は片山ガバナーをはじめ、地区の会員・役員の皆様に多数ご参加いただきまして誠にありがとうございました。櫻井よしこ先生のご講演はいかがでしたでしょうか。我々瑞穂RCはホストクラブとしてなんとか無事に大役を果たすことができました。至らないところがたくさんあったと思いますが、ロータリークラブの友情でお許しただけますようお願い申し上げます。来年度の担当は大須RCとなりますが、今日以上に充実した大会にしていだけたらと思っております。それでは2008~2009年度R.I.第2760地区西名古屋分区大会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

出席報告

田口 豊幹事

会員71名 出席61名 (出席計算人数53名)

出席率98.4%

2月12日は補填により 87.1%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋南				3/18(水)
名古屋北	2/27(金)			3/20(金)※
名古屋東	2/23(月)		3/9(月)	
名古屋守山	2/25(水)※		3/11(水)	
名古屋みなと			3/13(水)	3/20(水)※
名古屋東南		3/4(水)		
名古屋中	2/23(月)			
名古屋和合	2/25(水)※		3/11(水)	3/18(水)※
名古屋名東	2/24(火)	3/3(火)※		3/17(火)
名古屋名北	2/25(水)※	3/4(水)		
名古屋千種	2/24(火)			
名古屋栄	2/23(月)◆			
名古屋名駅			3/11(水)※	
名古屋昭和	2/23(月)	3/2(月)		
名古屋名南	2/24(火)◇			
名古屋丸の内		3/5(木)		
名古屋錦	2/24(火)			
名古屋東山	2/26(木)			3/19(木)
名古屋葵	2/26(木)※			3/19(木)※
名古屋清須			3/10(火)	3/17(火)※
尾張中央			3/11(水)	
名古屋城北	2/24(火)			3/17(火)※

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付が17:00~18:00となります。

◇はサイン受付が17:30~18:30となります。

今週卓話

2月26日(木)

卓話講師:2008~2009年度米山奨学生 陶静さん
テーマ:証券恐慌以後における日本証券市場

次週卓話

3月5日(木)

卓話講師:2008~2009年度地区RCC副会長 松崎美都子さん
テーマ:地区社会奉仕とRCC(RCCって素晴らしい!!)

次々週卓話

3月12日(木)

会員卓話:宗宮 信賢さん
テーマ:腎臓病あれこれ